

令和7年10月7日

保護者様

柏市立土中学校

校長 須藤 昌英

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析結果について

この度令和7年度全国学力・学習状況調査の分析を行いましたので、概要をお知らせします。なお調査対象は、本校3学年生徒が対象となっております。

記

1、本校の調査結果概要及び分析の結果

国語	本校3学年生徒の正答率は全国平均と同等でした。観点別において見てみると「書くこと・読むこと」は全国平均をやや上回っています。反対に「話すこと・読むこと」は全国平均をやや下回っています。また、書いたり読んだりする設問では正答率が高い傾向が見られる一方で、漢字の読み書きや語句の正しい活用に関する設問では正答率が低い傾向が見られます。このことから、漢字の読み書きや語彙拡充に関する授業を進めていくほかに、聞き取りの練習や、根拠を明確にして考えを話す練習を進めていきます。
数学	数と式、関数分野では、本校の正答率が全国正答率を上回っています。素数の意味を理解しており、グラフから必要な情報を読み取ることができています。一方で、図形の問題では、本校の正答率が全国正答率を大きく下回っています。外角の大きさを求める問題や、平行四辺形になることの証明の問題が苦手な傾向にあります。また、文字式や図形の証明は無回答率が高いので、今後の授業で、証明を説明する活動を積極的に取り入れていきます。
理科	【成果】 ①実験観察で学んだことを生かすことができている。 ②電気分野での知識が定着している人が多い。 【課題】 ①記述問題が書けない。(学年で6～7人程度取り組んでいない。) ②基本的な知識・技能について問われている問題に答えられていない。 【今後取り組み】 ①記述問題に取り組めない人が一部見られる。実験の際に、考察で書く内容のヒントを出し、状況を整理し、解答する習慣を付けたい。 ②基本的な知識・技能の部分は、小テストを繰り返し行うことで理科用語に触れる機会を増やし記憶を定着させることが必要である。

2, 今後の改善策等（研究主任）

繰り返し練習や確認の小テストなどを反復することで、基礎知識の定着を図り、これを生徒の「わかる」という自信につなげることを継続していきます。そして、学習課題や発問、宿題の出し方を工夫したり、生徒同士の学び合いの場面を設定した授業に力を入れ、主体性を育ませる指導に取り組んでいきます。

また、小中での連絡調整を行い、小学校段階からの発達に応じた連携教育を実施していく予定です。

3, 個人票について

3年生には、個々の結果を掲載した個人票の配布を行いました。各教科について、学習内容ごとの解答状況が表示されていますのでご覧ください。